

# 降ひょう・強風・突風に対する農作物の技術対策

平成26年8月4日  
農業支援課

8月1日夜に、上里町、神川町の一部で、降雨とともに降ひょう、強風、突風がありました。収穫直前のなしで、果実の落下および損傷、葉の裂けや擦れなどの被害が発生しています。

技術対策資料を作成しましたので参考にしてください。

なし

- 1 多目的防災網や防鳥網が強風で飛ばされたところは、早急に網を掛け直し、鳥の加害や今後の降ひょう等に備える。網が破れたところは補修をする。
- 2 落下した果実は速やかに園外に運び出し処分する。
- 3 幸水、彩玉、豊水などで、ひょうにより果肉まで傷が及んでいる場合は、摘果し園外に運び出し処分する。
- 4 新梢以外の枝に損傷を受けたものは、保護剤を塗布する。
- 5 輪紋病の発生を防止するため、次の薬剤を散布する。ただし、気温が高いときには、薬害の恐れがあるので避ける。

農薬名	希釈倍率	使用時期	使用回数
ベンレート水和剤	2000～3000倍	収穫前日まで	4回以内
トップジンM水和剤	1000～1500倍	収穫前日まで	6回以内
ストロビードライフロアブル	2000～3000倍	収穫前日まで	3回以内
ナリアWDG	2000倍	収穫前日まで	3回以内

## ＜農薬使用上の注意事項＞

- 1 農薬は、ラベルの記載内容を必ず守って使用すること。
- 2 施用量及び希釈倍率は使用の都度確認すること。
- 3 農薬を散布するときは、他の作物にかからないように注意すること。
- 4 農薬の使用記録簿をつけること。

※農薬情報：平成26年8月1日 JPP-NET から検索